



▶▶ 三重県熊野市

「のってこらい」 過疎地の交通手段を確保

熊野市は、過疎高齢化が進み、高齢者の通院や買い物などの交通手段の確保が課題となっています。山あいに位置し、公共交通が十分でない五郷（いさと）町では、地域住民が主体であるNPO法人「のってこらい」（地元で「乗っていこうよ」の意味）が、営利目的とはならない範囲での自家用自動車運送を開始しました。

平成28年度には、五郷町と同様の課題を抱える飛鳥町への運行範囲の拡大に伴い車両の追加が必要となった

ため、ふるさと納税を募り、事業内容や同法人の取組を発信しました。

寄附者へお礼の手紙を送付するとともに、運行の様子をウェブサイト等に公開し、全国の支援が熊野の地で多いに役立っていることを伝えています。



高齢者の交通手段としてののってこらいは地域になくてはならない乗り物



ふるさと納税によって車両が購入できたことを利用者に説明

注力した点や工夫した点

公共交通空白地の状況や事業の必要性など具体的な取組内容が広く周知され、寄附者の共感を得ることができました。

Check

取組の効果

ふるさと納税により、新たな車両を配備することができ、より広範な運送サービスが可能となりました。

ふるさと納税を募集することにより、市の取組を広く全国の皆さんにPRできただけでなく、ふるさと納税をしていただいた方から温かい応

援コメントが多く寄せられたことで、運営に携わる方の活動に対するモチベーション向上にもつながっています。



高齢者が日常生活に必要な商店や診療所への送迎



のってこらいは送迎だけではなく、利用者の見守りも

寄附者の声



・過疎地での高齢者の移動の問題は今後ますます大きくなると思います。取組が熊野から全国に広がるように、陰ながら応援しております。

住民の声



・車が無いと生活が成り立たないので、こうした試みは素晴らしいと思います。